

単元名 8 自分を見つめる ―漢字に親しもう5
配当時間 1時間

単元の目標 (1) 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。
 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、
 文や文章の中に使うことができる。
 (3) 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

標準的な展開例

10210302_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 練習問題に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 漢字を使いこなそう。 ○ 新出漢字の確認をする。 ○ 練習問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時は、小学校6年生で習った漢字を中心に練習問題に取り組んでいくことを伝える。 ・ 言葉の意味が分からないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ・ 「小学校六年生で学習した漢字」(p.255)に合わせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。 【評】 練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

表現に込められた書き手などの思いやものの見方を理解することは、大事なことである。表現の工夫とは、単なる飾りではない。表現を工夫することによって、いっそう的確に描き出せたり、より効果的に伝わるようになったりした書き手や話し手の思いやものの見方などから、表現効果なども踏まえながら自分の考えをもてるようにさせたい。

また、「少年の日の思い出」は、ものの見方、感じ方、生き方の違いについて、じっくり考えさせたい作品である。これは道徳のC－(11) 正義、公正・公平にあたり、これを機会に差別や偏見のないものの見方をしようとする気持ちを高めたい。